



概要

平成11年の博多座の開場を記念して始まった。毎年5月下旬に博多川の清流公園から博多リバレイン間を歌舞伎役者などが幟を立て緋毛氈や船端幕などで飾った船から左右の沿岸の見物客に挨拶をしていく。

現在では、博多座と大阪松竹座でしか行われていない全国的にも珍しい行事。見物客数は約3万人(H16)に上る。

Funanorikomi 船乗り込み

●主催者／船乗り込み実行委員会

博多座開業の平成11年に始まった博多川の「船乗り込み」も、今や博多の初夏を彩る風物詩となりつつある。江戸時代に大阪で歌舞伎興行の際、ご当地到着を船でお披露目したことに始まり、現在では大阪と博多だけの珍しい行事である。

博多川を清流公園から博多リバレインまで、笛や太鼓のお囃子を先頭に、紋付き袴姿の役者たちを乗せた船が色とりどりの幟をなびかせて下ってゆく様は大変風情があるもの。両岸を埋めた人垣からは、「成田屋!」「音羽屋!」など轟々の屋号や声援がかけられ熱気を帯びる。「船乗り込み」は、博多川が整備され美しく蘇ったから可能になった催しでもある。

「船乗り込み」は博多川一帯を舞台として、役者と観客と景観とで作る上げる、一幕の芝居と言えよう。

(審査委員 中村 敏子)



THE 18th FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD

特別表彰

概要

平成元年のビル開業当初から行っている。地下2階から8階までのオープンな吹き抜け空間で夏のオーロラやクリスマスのイルミネーションなどユニークな企画を行い、四季折々市民の目を楽しませている。



Atrium Gallery of IMS Building

イムズ吹き抜け空間のアート展示

●主催者／(株) イムズ

今から15年前、九州の「時代波震源地」というコンセプトを掲げ、全国注目を集めオープンした。落ち着いたゴルドの外観、内部の壮大な吹き抜け、ガラス張りのエレベーター。建物についてはオープン翌年に都市景観賞を受賞している。

オープン当初より、地下2階から8階までの吹き抜け空間で様々な芸術企画を展開している。柔らかな灯る和紙のあかりや巨大なウオータードームなど、思わず目を引く展示が多数行われている。夏のある日には涼しげな光のカートンに迎えられ、クリスマスには雪が無い、いつも違う何かが行われているアートの空間である。

このようなコマージュリズムを超えた取り組みが、街に芸術的な刺激を与え続けている。

(審査委員 鹿野 至)

